

[通常機体]ク X 「クロスボーン・ガンダム」

## クロスボーン・ガンダム 3号機

機体名	クロスボーン・ガンダム 3号機	画像
型式番号	XM-X3	
英語名		
所属	新クロスボーン・バンガード	
パイロット	トビア・アロナクス	
装甲材質		
装備		
作品名	機動戦士クロスボーン・ガンダム	
参考書籍		

### 内容

新クロスボーン・バンガードの試作型 MS。

クロスボーン・ガンダムの試作 3号機である。

「最強の矛と盾の装備」に武装の基本設計が置かれた接近戦戦闘強化機体。

他の試作機とは兵装が違っただけで、基本性能にはほとんど差がない。

両腕部のビームシールドがIフィールド発生装置に変更されており、また主武装はビームガンと14基のビームサーベル発生装置を組み込んだサナリィ開発の「ムラマサ・バスター」に換装されている。

しかしIフィールド、ムラマサ・バスターとも稼働時間に制限があり、強力ではあるが扱いの難しい機体となってしまった。

木星戦役中に新クロスボーン軍の所属となり、木星軍の最終兵器「ディビニダド」と相打ちになって爆砕している。

### 備考

### スペック

項目	内容
全高	
頭頂高	
全長	
本体重量	
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスタ推力	
センサ有効半径	